



平成 30 年 7 月 13 日

各 位

会社名： アサヒ衛陶株式会社  
代表者名： 取締役社長 町元孝二  
(コード番号： 5341 東証第二部)

問合せ先： 取締役 丹司 恭一  
企画管理部長

電話番号： 06-7777-2073

## 第 2 四半期業績予想数値と実績数値との差異及び通期業績予想の修正 並びに固定資産の減損損失計上に関するお知らせ

平成 30 年 1 月 19 日に公表いたしました平成 30 年 11 月期第 2 四半期業績予想数値と本日公表の実績数値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 11 月期通期業績予想を修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

平成 30 年 11 月期第 2 四半期連結決算及び個別決算において、固定資産の減損損失を計上しておりますので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 30 年 11 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値と実績数値との差異(平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,600	百万円 15	百万円 10	百万円 5	円 銭 3.46
今回実績数値(B)	1,578	△34	△40	△231	△159.78
増減額(B-A)	△22	△49	△50	△236	
増減率(%)	△1.3	—	—	—	
(ご参考)前第 2 四 半期実績 (平成 29 年 11 月期 第 2 四半期)	1,483	△63	△60	△70	△48.52

2. 平成30年11月期通期(連結)業績予想数値の修正(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,450	75	65	40	27.66
今回修正予想(B)	2,980	△130	△150	△350	△242.07
増減額(B-A)	△470	△205	△215	△390	
増減率(%)	△13.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年11月期)	3,080	△68	△67	△85	△58.97

(注) 当社は、平成30年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期(当期)純利益」を算定しております。

3. 第2四半期連結業績予想数値と実績数値との間に差異が生じた理由

売上高については、前年同期は上回ったものの海外仕入先の衛生陶器の生産遅れによりトイレの主力商品の在庫が不足したことによる販売減少が大きく影響し、他の商品の販売拡大によるリカバリーを図ったものの、目標とする売上高に到達することができず、前回発表予想時の売上高を下回ることとなりました。

利益についても、前回発表予想時には想定していなかった海外サプライヤーの大幅なコストアップがあったことによる原価率の上昇の影響により、営業利益・経常利益が前回発表予想時を下回ることとなりました。さらに、当第2四半期決算において繰延税金資産の取り崩しを19百万円行ったこと及び固定資産の減損処理を167百万円行ったことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表予想時を大きく下回ることとなりました。

4. 通期連結業績予想修正の理由

上記に記載のとおり、上期の売上高が当初計画と比して少なかったことに加えて、業績改善策の一環として当期の下期より採算性の極端に低い商品の販売の縮小・撤退を進めていく方針であることから、前回発表予想時よりも売上高が減少する見込みとなりました。

利益についても、上記に記載のとおり上期の営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益が当初計画を下回ったことに加えて、海外仕入先からのコストアップの影響が下期にも及んでくること、また不採算商品の販売縮小・撤退に代わる代替生産によるコストダウンと採算性の優れた商品への販売シフトには半年程度の時間を要することから、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益のいずれにおいても前回発表予想時を下回る計画となりました。

5. 平成30年11月期第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績数値との差異(平成29年12月1日～平成30年5月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,550	百万円 10	百万円 5	円 銭 3.46
今回実績数値(B)	1,541	△38	△230	△159.72
増減額(B-A)	△9	△48	△235	
増減率(%)	△0.6	—	—	
(ご参考)前第2四半期実績 (平成29年11月期第2四半期)	1,435	△65	△75	△52.35

6. 平成30年11月期通期(個別)業績予想数値の修正(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,300	百万円 60	百万円 40	円 銭 27.66
今回修正予想(B)	2,920	△150	△350	△242.07
増減額(B-A)	△380	△210	△390	
増減率(%)	△11.5	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年11月期)	2,966	△73	△88	△61.10

(注) 当社は、平成30年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期(当期)純利益」を算定しております。

7. 第2四半期個別業績予想数値と実績数値との間に差異が生じた理由及び通期個別業績予想修正の理由

上記の第2四半期連結業績予想数値修正の理由及び通期連結業績予想の修正理由と同様の理由によるものであります。

#### 8. 固定資産の減損損失計上について

平成 30 年 11 月期第 2 四半期連結決算及び個別決算において、固定資産の減損損失を 167 百万円計上しております。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。

予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上